

Wish



(財)日本ユニセフ協会

兵庫県支部

〒658-0081
神戸市東灘区田中町5-3-18
コープこうべ生活文化センター4F
TEL 078-435-1605
FAX 078-451-9830

ユニセフ兵庫ニュース



「子ども参加」
～なぜ子どもの声に
耳を傾けなければ
ならないのか～

© UNICEF

今年もいい“顔” 「感謝 そしてこれからも」

12月23日 三宮センター街での
街頭募金活動「ハンド・イン・ハンド」

2003年、たくさんの方にご支援いただき歩み始めた兵庫県支部が、はじめてのお正月を迎えました。

2002年にはたくさんのうれしいできごとがありました。

11月には、兵庫県支部の会長でもある竹本成徳氏が「兵庫県社会賞」を受賞。また、初めて取り組んだ街頭募金活動にも、たくさんの方がボランティアとして参加しました。みなさんの明るい笑顔、元気で大きな声はきっと世界の子どもたちへも届いていることと思います。

そして、さまざまな出会いもありました。

何らかの形で関わり、支援したいと思ってくださる人の輪が広がりつつあります。ボランティアとして登録、活動する人。会員になる人。また募金をする人。それぞれ協力の方法は違っても「世界の子どもたちのために」という願いは同じ。

そんな中、学習活動での児童との出会いもまた印象に残るものでした。自分たちで募金活動に取り組み、募金をいただく時。「募金をしていただくことはとても有難い。でもそれ以上にうれしいのは、みなさんのその気持ち。本当にありがとうございます」。底冷えのする体育館。でも、心はとっても温かくなってきます。

子どもの笑顔を消さないように。
今年もよろしくお祈りします。



11月5日「兵庫県社会賞」を受賞される竹本成徳会長



「社会賞」は

竹本成徳会長は、長年にわたり自らの被爆体験をもとに、生協運動を通じて広く国際平和を訴え続けてこられました。参画と協働による国際協力の充実に向け、日本ユニセフ協会兵庫県支部設立に尽力されたこと等、これまでの活動が認められたものです。

チーム紹介

学習チーム

ユニセフのボランティアをはじめて半年がたち、事務局長の福井さんの多忙ぶりを知るにつけ、もっと自分たちが力になるような活動ができるようにならなければならないとの思いが11月のチーム会の発足のはじまりです。

学習チームでは、「ユニセフって何?」という基礎編にとどまらず、学校の総合学習の中でユニセフを取り上げて話を聞きたいと呼んでくださる機会もぐんと増えていきますので、徐々に要請に応えられるよう努力しようと思います。何より一人でも多くの人たち、特に未来を担う子どもたちに世界の子どもがどのような状況にあるのか、少しでも関心を持ち、何かできることを考えてほしいと願うからです。(と)

これまでに開催した学習会

訪問日	訪問先	対象	人数
10月26日	コープこうべ第7地区	一般組合員	50
11月6日	西宮市立樋の口小学校	小学5年生	150
11月7日	神戸地域ココロクラブ	受講生	51
11月7日	龍野市立小宅小学校	小学6年生	135
11月10日	ガールスカウト兵庫第26団	児童～成人	40
11月15日	草ノ実の会(明石市)	メンバー	25
12月5日	姫路市立八木小学校	小学6年生	29
12月10日	吉川町立上吉川小学校	小学1年生～6年生	87
12月10日	神崎町立高岡小学校	小学5年生～6年生	17
12月12日	芦屋市立精道中学校	中学3年生	60
12月13日	三田市立広野小学校	小学5年生	82
12月19日	花の北教養講座(姫路市)	受講生	20

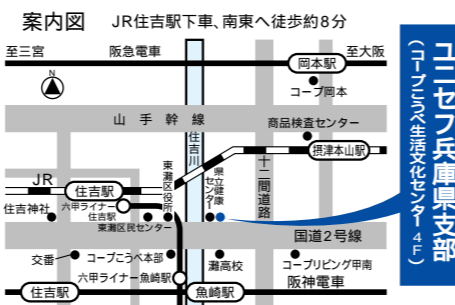
兵庫県支部 会員数 307人(12/31現在)

あとがき

今この時この時を、世界のあちこちで、たくさんの子どもたちが一人ひとりの人生を生きている。ユニセフの活動に関わる時いつも、そういう想いが実感となるような気がします。2003年が始まり気持ちを新たに、すべての子どもたちの幸せを願います。(K)

Wish Vol.3号(2003年冬) ユニセフ兵庫ニュース

2003年(平成15年)11月発行(季刊)
発行:(財)日本ユニセフ協会 兵庫県支部
〒658-0081 神戸市東灘区田中町5-3-18
コープこうべ生活文化センター4F
TEL 078-435-1605 FAX 078-451-9830
(平日の10時～16時)



本紙は再生紙を使用しています。

広がる笑顔 ハートのネットワークつながりました!

1979年、国際児童年から始まったボランティアが参加するユニセフ募金活動「ハンド・イン・ハンド」。兵庫県支部として総勢98名(ボーイスカウト45名、小・中・高・大学生20名、成人10名他)のボランティアで、三宮、元町、西宮北口で行ないました。初めての街頭募金活動でしたが、天候にも恵

まれ、混乱もなく無事3時間が終わりました。総額274,818円の募金が集まりました。

今回の募金は、世界の子どもたちに予防接種を実施していくために使われます。みなさんのたくさんのご協力に感謝いたします。

「ハンド・イン・ハンド」三宮会場



三宮センター街でのハンド・イン・ハンド

始まった頃には少なかった人通りが、1時間ほどでもものすごく多くなりました。家族連れ、友達同士、恋人同士、本当にたくさんの方に募金していただきました。人の心の温かさや優しさを感じ、またやってみたくて思った。今度呼びかけられる立場だったら協力したい。

子育てフェスタでカード販売 11/10(コープこうべ生活文化センター)



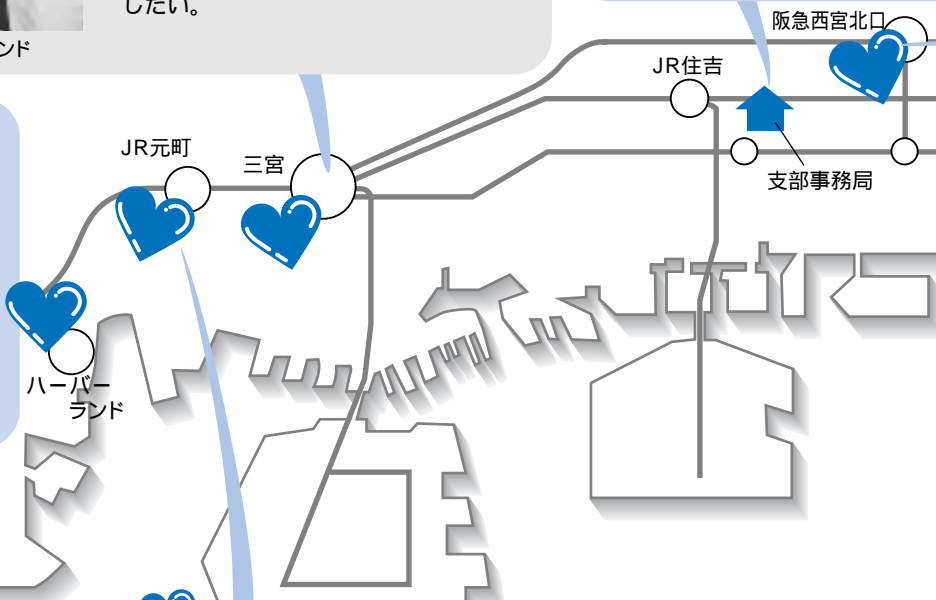
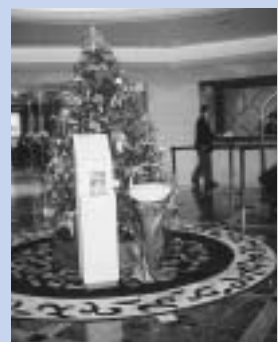
阪急西宮北口

JR住吉

須磨学園高等学校 ハンドベル部によるチャリティコンサート



神戸ハーバーランドニューオータニではこんな取り組みも



ハーバーランド

JR元町

三宮

JR住吉

阪急西宮北口

支部事務局

「ハンド・イン・ハンド」西宮会場



阪急西宮北口駅でのハンド・イン・ハンド

たくさんの方が協力してくださったので、呼びかけの声も自然とだんだん大きくなってきました。今まで何気なく通り過ぎていた募金活動、今回初めて逆の立場になって大変なことがわかりました。ちょっとしんどかったけど、いっぱいお金が集まってよかった。自分の持っていた募金箱にお金が入るととてもうれしかった。私たちが集めたお金が世界中の子ども役に立てばいいと思う。(小V) とても大変だったけど、いろいろな人がお金を入れてくれたからうれしかった。ユニセフ募金で集めたお金が世界の子どもたちの役に立つんだなあ~と思ったらうれしくなった。(小S) いっぱい入れてくれたからうれしかった。ありがとう。(小Q)

12/25 西宮市立苦楽園中学校 生徒会メンバーが支部事務局を訪問

会長の飯塚君をはじめ9名のみなさんは生徒会を次期2年生へバトンタッチ。なんとかユニセフ活動をつなげていきたいので、もっと自分達にできることはないか...と兵庫県支部へ。



「ハンド・イン・ハンド」元町会場

外での募金活動はひさしぶりで大きな声を出しました。みんなで協力して大きな声を出すのは大切で若い人の声がよく通ってよかったと思います。おばさんたちだけではなく、幅広い参加が必要だなと思いました。私も知り合いの若い人にもっと声をかけていきたいです。(す) このお金を無駄遣いしないよう、必ず子どもたちの元へいくようにしてください。(ボーイスカウト・リーダー) 子どもたちが訴えかける力に感じました。これを機に世界の現状にも目を向けてくれればと思います。(第9期団リーダー) この不況の中、自分自身が苦しいにもかかわらず、赤の他人にも募金することはすばらしいと思います。(第9期団リーダー) たくさんの方が募金を入れてくれるから、たくさ

んの人が人を助けてくれてすごいと思いました。(ボーイスカウト) 僕はユニセフ募金で一人でも人を守りたいと思いました。(ボーイスカウト)



元町・大丸前でのハンド・イン・ハンド

中学生の参加が大きな力でした。これからの世界を担う子どもたちに、ここからの応援と感謝をして参加できた事を嬉しく思います。(真) はじめは声を出すのがはずかしかかったけど、最後になると大きな声で言えて良かったし、楽しかったです。たくさんの方が募金してくれて、箱が重くなっていくのがうれしかったです。いい経験ができてよかったです。募金を入れてくれるとうれしかったし、やりがいがありました。普段は募金とかあまりしないけど、今後したいと思っています。

お知らせ ユニセフの つどい

「世界のともだちと心をつなごう」

~わたしたちにできること~

と き: 2003年3月23日(日)11時~14時30分
会 場: コープこうべ生活文化センター2階ホール
(JR住吉駅から徒歩8分)

午前の部

たのしいユニセフ基礎講座
寸劇「ある日、あるところで」
スライド「ネパール視察報告」



ネパールスタディツアー 02/9/28~10/7
働く子どものクラブ(ピラナガル市)

午後の部

募金贈呈式
活動報告 ~私たち こんなことしました~
小学校、中学校またPTAでのユニセフ活動の
取り組みを報告。きついろんなヒントが。

ジャズピアノ 出演:永田順子さん
地雷レプリカ展示
「ワンワールド・ワンチャイルド」長島義明・写真展
3/17~3/23同時開催(1階ロビー)

参加費: 無料(ただし会場の準備の都合でお申込みください)

お問い合わせ、お申込みは: 日本ユニセフ協会兵庫県支部 電話 078-435-1605 FAX 078-451-9830

トピックス

「HIV/エイズの危機と子どもたち」写真展開催



2002年12/16~2003年1/10、ひょうご国際プラザギャラリーにおいて、「HIV/エイズの危機と子どもたち写真展」が開催されました。真新しいギャラリーの中、1・2部構成で計48点の写真等が展示され、多数の方々が入場されました。

1部では、写真家、後藤勝氏のリアリズム溢れる写真や、種々のデータ等が展示され、現状の厳しさを提示しました。2部では、ユニセフの様々な取り組みを紹介する写真・資料等が展示され、未来への希望を示唆することが出来ました。

アジア・アフリカをはじめ世界の子どもたちは、母子感染等によって生まれながらにエイズの危機にさらされています。日本でも若年層にエイズが増加との報道がありました。知識さえあれば防止できる問題であるだけに有意義な写真展となりました。また、世界の子どもたちに保健・衛生面での安全を提供し、一人でも多くの命を救うためにも、皆様の益々のご理解とご協力をお願い致します。